

令和6年度兵庫県立大学附属中学校学校評価結果

県立大学附属中学校

着色は、比較分析のため、高等学校と項目・聞き方を揃えたもの

【達成率】

領域	評価の観点	評価項目	質問番号	アンケート	生徒		保護者		教職員	
					R05	R06	R05	R06	R05	R06
教育課程	基礎・基本の徹底と個に応じた学習の充実	指導内容・指導方法の工夫改善	1	教員は、生徒の基礎的・基本的な学力が定着するよう工夫した授業ができている。	82%	90%	82%	82%	87%	80%
			2	生徒は、宿題や提出物は期限を守って提出できている。	80%	69%	82%	83%	70%	72%
			3	教員は、授業やスタディサポートなどで、個に応じた指導ができている。	85%	84%	77%	79%	80%	77%
		4	国語・数学・理科・英語は少人数授業により、きめ細かな学習指導ができている。	85%	85%	83%	83%	83%	84%	
		5	教員は、学力の向上につながる評価ができている。	91%	88%	85%	82%	83%	82%	
	自ら学び、考える力の育成	指導内容・指導方法の工夫改善	6	教員は、コミュニケーション能力や表現力の向上につながる指導ができている。	82%	85%	79%	85%	83%	88%
		体験的・問題解決的な学習の展開	7	教員は、体験的・問題解決的な学習を通して、生徒の探究心を高めることができている。	90%	88%	82%	86%	87%	88%
	道徳教育の充実	全教育活動の中での道徳性の育成	8	教員は、生徒の道徳性を養うため、道徳の授業力向上に努めることができた。生徒は、思いやりの心を持って、心豊かな学校生活を送ることができている。	89%	81%	85%	81%	83%	82%
	特色ある教育活動の充実	総合的な学習の時間の充実	9	教員は、生徒がプロジェクト学習・エリア学習・中大連携授業などに積極的に取り組むことができるよう指導できている。	92%	92%	89%	87%	88%	88%
		学校設定教科の充実	10	教員は、生徒が学校設定教科「コミュニケーション」「探究科学」に積極的に取り組むことができるよう指導できている。	89%	89%	84%	86%	88%	85%
		中大連携教育	11	「各学部訪問」「中大連携授業」「プロジェクト学習」などの県立大学との連携教育の内容は、生徒の学習意欲や興味・関心を高めることができている。	90%	90%	89%	88%	93%	82%
		中高一貫教育	12	学校行事を含め、6年間を一体的にとらえた特色ある教育活動を効果的に実践している。	81%	86%	85%	83%	68%	59%
	特別活動	学校行事の充実と精選	13	文化祭(5月)、体育大会(10月)、ART FESTIVAL(11月)などの学校行事の意義を生徒一人一人が理解し、主体的で充実したものになるよう行動できている。	94%	89%	91%	85%	83%	73%
課題教育	読書活動の推進	朝の読書を中心とした読書習慣の確立	14	生徒は、読書の習慣が身につけている。	79%	78%	77%	75%	90%	77%
	健康・安全教育の推進	学校保健の充実と生徒の健康に関する意識の向上	15	生徒は、学校生活において、安全に心がけて行動できている。	92%	80%	87%	86%	80%	73%
		望ましい生活習慣の育成	16	生徒は、生活リズムを整え、望ましい生活のあり方に関心を持って生活できている。	83%	77%	79%	73%	77%	72%
	人権教育の充実	命と人権を大切に、共に生きる社会の実現をめざす生徒の育成	17	生徒は、友だちのよさや努力を認め合うことができる。	93%	88%	85%	84%	87%	80%
	情報教育の充実	情報機器や情報通信ネットワークの活用	18	生徒は、パソコンなどの情報機器を、プレゼンテーションなどに活用することができている。	91%	90%	84%	81%	97%	88%
	国際理解教育の推進	海外の国の人々との交流の推進	19	生徒は、「インターびーぶるディ」「スピーチコンテスト」「海外語学研修」などに意欲的に取り組んでおり、国際理解教育の取組は充実している。	90%	88%	85%	79%	88%	86%
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	20	学校は、ホームページ・学級通信等により学校の様子を発信できている。	85%	85%	84%	81%	88%	77%
		保護者等の参加する教育活動の推進	21	学校行事、授業参観、各種学習発表会、懇談会等について、学校は保護者と連携して実施することができている。	86%	86%	85%	85%	87%	82%
	生徒指導	好ましい人間関係に基づく学級・学校づくり	22	学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期対応ができる体制になっている。生徒は、いじめのない学級・学校生活を送っている。	96%	85%	86%	80%	88%	88%
		生徒の生活実態や内面に対する共感的理解に基づく指導の充実	23	生徒は、服装の乱れなどのない、けじめのある生活ができている。	91%	81%	89%	87%	80%	82%
			24	教員は、個々の生徒の生活や特性を把握し、個に応じた適切な指導・支援を行っている。	88%	84%	86%	84%	83%	83%
	進路指導	自分自身を見つめ、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力の育成	25	教員は、「トライやる・ウィーク」や県立大との連携教育等を通して、将来の進路にかかる指導を適切に行っている。	83%	89%	85%	85%	85%	77%
	危機管理体制、施設等の整備	家庭・地域社会・関係機関と連携した危機管理体制の推進	26	学校は、感染症対策など健康に関する管理体制を構築している。生徒は、学校で安心・安全に学校生活を送っている。	95%	87%	88%	85%	83%	85%
		施設・設備に関する日常の安全管理体制の整備と整備計画の策定	27	学校は、安全に配慮した施設設備の管理に取り組んでいる。	92%	85%	85%	84%	80%	77%
	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	28	教職員は、その場に適した言葉遣いに心がけている。	90%	84%	88%	86%	83%	80%
部活動	自発的な活動の活性化	29	教員は、部活動において、健康・安全面に配慮した指導ができている。	93%	89%	88%	87%	82%	79%	